

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2022年8月1日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/21	0	19.1	31.93	0	0	0	0	10	Di10
太平洋中部		10	17.7	33.47	0	0	0	30	50	Dt10,Dm30,Di10
7.0		20	16.6	33.57	0	0	10	0	30	Dt10,Dm10,Dru10
		30	15.1	33.40	0	0	30	0	0	
虻田	7/26	0	22.1	30.61	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	19.7	31.47	0	0	0	0	200	Dt170,Dm10,Dro20
9.5		10	17.8	32.04	0	0	0	0	320	Dt290,Dm10,Dro20
		15	16.6	32.48	0	0	50	60	140	Dt130,Dm10
		20	15.8	32.84	10	0	80	30	460	Dt460
		25	15.0	32.97	20	0	60	30	150	Dt140,Di10
八雲	7/20	0	20.9	30.17	10	0	0	0	0	
噴火湾北西部		5	19.2	31.29	0	0	0	60	90	Dt80,Di10
9.0		10	18.6	31.50	10	0	20	0	80	Dt70,Di10
		15	18.3	31.58	0	0	0	10	50	Dt50
		20	18.0	31.72	0	0	0	0	0	
		25	16.4	31.83	0	0	0	0	0	
		30	14.0	32.16	0	0	0	0	0	
鹿部	7/14	0	15.1	32.20	10	0	0	70	130	Dt130
噴火湾湾口部		10	11.6	32.44	0	0	40	90	120	Dt100,Dc10,Dru10
10.0		20	10.1	32.61	1,900	0	50	60	50	Dt30,Di10,Dro10
		30	8.1	32.77	31,300	0	70	40	130	Dn120,Dru10
		40	7.4	32.69	600	0	90	10	60	Dt10,Dn50

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 *A. tamarense*)

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロトンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、**噴火湾湾口部で10,000細胞/Lを超えて**出現しています。噴火湾東部及び噴火湾北西部でも出現していますが、100細胞/Lを下回っています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾北西部、噴火湾湾口部に出現しています。

太平洋中部の7月下旬の水温は15.1~19.1°C、噴火湾東部の7月下旬の水温は15.0~22.1°C、噴火湾北西部の7月中旬の水温は14.0~20.9°C、噴火湾湾口部の7月中旬の水温は7.4~15.1°Cです。

(担当:夏池真史・水上卓哉)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2022年7月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.5	7/5	0	18.6	27.78	160	0	0	30	30	Dt10,Di20
		10	13.2	33.16	10	0	30	0	10	Di10
		20	8.0	33.05	10	0	0	0	10	Dn10
		30	6.8	33.07	70	0	50	30	60	Dt20,Di40
虻田 噴火湾東部 6.0	7/5	0	18.9	28.84	10	0	0	20	80	Dt40,Di30,Dru10
		5	15.9	31.91	0	0	10	50	80	Dt50,Di30
		10	14.0	32.14	270	0	0	30	30	Dn20,Di10
		15	10.4	32.35	21,300	0	20	60	40	Dn40
		20	8.2	32.86	70	40	30	70	0	
25	8.1	32.93	20	0	10	0	0			
森 噴火湾南西部 4.0	7/4	0	19.5	28.14	0	0	0	80	30	Dt30
		10	13.1	32.15	0	0	30	90	20	Dt10,Di10
		20	10.3	32.43	1,990	20	20	20	10	Dn10
		30	7.7	32.58	50	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 8.0	7/4	0	18.4	32.80	0	0	0	0	0	
		10	15.7	33.79	0	0	0	0	10	Di10
		20	14.2	33.90	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 *A. tamarense*)

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、**噴火湾東部で10,000細胞/Lを超えて、噴火湾南西部で1,000細胞/Lを超えて、太平洋中部で100細胞/Lを超えて**出現していますが、津軽海峡では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾南西部、津軽海峡に出現しています。

太平洋中部の7月上旬の水温は6.8~18.6°C、噴火湾東部の7月上旬の水温は8.1~18.9°C、噴火湾南西部の7月上旬の水温は7.7~19.5°C、津軽海峡の7月上旬の水温は14.2~18.4°Cです。

(担当:夏池真史・水上卓哉)